

## 2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		農業振興対策事業						
事業の概要	事業の概要	<p>本町の基幹産業の一つである農業の振興を図るため、農業基盤の整備に取り組むとともに、循環型農業をはじめとする特色ある農業の推進や、健康・安全指向などの消費者ニーズに対応した農産物の生産促進を図るものである。</p> <p>&lt;自然循環型農業推進事業&gt; 「京の豆っこ」肥料購入団体補助 他</p> <p>&lt;有害鳥獣防除施設設置事業&gt; 捕獲檻設置 イノシシ用 5基 熊用 3基</p>						
	事業期間	平成19年度						
	総事業費	3,437	本年度事業費	3,437	交付金交付額	1,718		
事業評価	事業の必要性	<p>健康・安全指向などの消費者ニーズに対応した農産物の生産促進を図るため、自然循環型農業を推進し、本町の基幹産業の一つである農業の振興を図る。</p> <p>また、有害鳥獣による農作物の被害は、年々増加の一途を辿っており、これらの被害への対策は不可欠である。農家の方が安心して農業に取り組めるよう支援し、農地の保全を図る。</p>						
	事業の有効性	<p>自然循環型の農業を推進することで、化学肥料の過剰な投与を防ぎ、また、自然環境に優しい農業を実現することができる。</p> <p>また、農地保全に積極的に取り組むことで、人手不足・後継者不足等に悩む農家の負担の軽減を図るものである。</p>						
	事業の効率性	<p>食の安全が社会的に大きな注目を集める今日、有機肥料を用いた農作物は多くの需要があるものと推察される。</p> <p>農家が安心して作物を育成できる環境を整えることで、農家の生産意欲の増大も期待できるものである。</p>						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果						
		2 住民の自治意識を高める成果	<p>自然循環型農業は、事業自体が軌道にのるまでは町の支援は必要不可欠であるため、現在は肥料購入補助等で町が支援する内容となっている。しかし、今後は補助内容の修正等も念頭にいれ事業を推進していくことで、農家の自立を支援していくものである。</p>					
		3 リーディング・モデル成果	<p>有機肥料を用いた安全な農産物の育成に取り組むことで、従来からの化学肥料等を大量に用いた効率重視の農業からの脱却を図るものである。</p>					
4 広域的波及成果								
具体的な成果	5 行財政改革に資する成果	<p>有害鳥獣による農作物の被害は、年々増加の一途を辿っており、これらの被害を防止するための対策を講じることで、農作物の質・量の向上を図る。</p>						
	6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。